



## 2019年度日本語教育学会春季大会（つくば国際会議場）

### チャレンジ支援企画 - 「わかば」なあなたに-

チャレンジ支援委員会では、2016年度より大会会場で「わかば」なあなたが参加できる各種プログラムを用意しております。ぜひご参加ください！



#### 🌱「わかば」なあなたとは…（非会員も大歓迎）🌱

- \* 日本語教育を学ぶ大学生・大学院生の方
- \* 日本語教育に関わり始めたばかりの方
- \* 日本語教育の経験は長いけど、研究を始めたばかりの方、研究をやってみみたい方など…

#### 🌱わかば・コンシェルジュ🌱

5月25日(土) 12:00-15:00 / 26日(日) 8:45-14:00 於:1階エントランス

「どこでどんな発表をしているの?」「どこに行けばいい?」など、「わかば」なあなたの素朴な疑問になんでもお答えします。お気軽にお立ち寄りください。大会参加記念に写真撮影も可能です!

#### 🌱わかばさんいらっしゃい🌱

5月25日(土) 12:00-12:55 於:3階小会議室304

「わかば」なあなた向けに大会の内容をダイジェストでご紹介するオリエンテーション。開会式会場までご案内もします! 昼食持参でぜひお越しください。

#### 🌱ぷらさ da わかば🌱

5月26日(日) 12:10-13:20 於:4階小会議室405

皆さんの少し先を歩いている「センパイ」と出会い、研究や実践、キャリアの相談など、一対一で40分間、自由に対話してみませんか。当日5月26日(日)午前9時に1階エントランス受付横の「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを受け付けます。先着順ではなく、9時の時点で集まった方で抽選を行います。9時の時点で全員埋まらない場合は引き続き開始時間まで受け付けます。今回の定員は17名です。センパイの詳細については、次ページ以降をご覧ください。

【問合先】公益社団法人日本語教育学会 チャレンジ支援委員会 E-mail:challenge@nkg.or.jp  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会新館 2F TEL:03-3262-4291

🌱最新情報は、日本語教育学会ウェブサイト、twitter (@NKGkouhou)、Facebook で! 🌱

# ぷらさ da わかば センパイリスト

《日時》2019年5月26日(日)12:10~13:20

《会場》つくば国際会議場(日本語教育学会春季大会会場)

《申込》当日5月26日(日)午前9時に1階エントランス受付横の「わかば・コンシェルジュ」で申し込みを受け付けます。先着順ではなく午前9時の時点で集まった方で抽選を行います。  
9時の時点で全員埋まらない場合は、引き続き開始時間まで受け付けます(定員17名)。

|    | お名前・ご所属<br>(敬称略・50音順)                         | プロフィール   |
|----|---|--|
| 1  | おおしま ともりのり<br>大嶋 智規<br>ヒューマンアカデミー<br>日本語学校東京校 | 私は海外で日本語教育の世界に入り、現在は日本語学校の現場で日本語を教えると共に進路指導にも携わっています。日本語学校の魅力って何?どんな仕事をする?どんな教育?など私の経験も含め、たっぷりお伝えできればと思います。                      |
| 2  | おおひら きさき<br>大平 幸<br>山梨学院大学                    | スタートは日本語学校でした。教室以外の場での学習に興味を持ち、実際にフィールドに行き観察をしています。今は外国人が働く現場がフィールドです。「職場」という学習環境を変えていくためのヒントを探索中。                               |
| 3  | くろだ ふみひこ<br>黒田 史彦<br>首都大学東京                   | 日本語学校で働き始めた時から、日本語教育よりも日本語学習に関心があり、学習支援や学習リソースの整備に取り組んでいます。学習アドバイジング、アカデミック・ライティング支援、学習アプリの開発などにチャレンジ中です。                        |
| 4  | こにし まどか<br>小西 円<br>東京学芸大学                     | 国語の先生になろうと思って文学や日本語学を学んでいたのですが、言葉と人が好きで日本語教育の世界に引き込まれ、今に至っています。研究テーマは、日本語教育文法、コーパス、教材開発など。教師養成にも関心があります。                         |
| 5  | すずき ひであき<br>鈴木 秀明<br>目白大学                     | 社員を経て日本語教育の世界に入りました。日本語教師の役割は、教育をはじめ、研究、管理・運営、社会貢献と多岐に渡ります。スペシャリストとゼネラリストの面を併せ持つ日本語教育の仕事について、お気軽にご質問ください。                        |
| 6  | すなみ ほくと<br>角南 北斗<br>フリーランス                    | 日本語教育に詳しいWebデザイナーとして、IT教材の開発や活用アドバイスを行っています。これまで手がけたプロジェクトについては、 <a href="http://sunamihokuto.com">sunamihokuto.com</a> をご覧ください。 |
| 7  | せお まさき<br>瀬尾 匡輝<br>茨城大学                       | アメリカで修士号取得後、香港で6年間働きました。5年前に日本に戻り、専任の仕事をしてながら博士号を取得、今は仕事と子育ての両立に奮闘中です。余暇活動的な言語学習や言語教育の商品化をテーマに研究をしています。                          |
| 8  | たかなし しのり<br>高梨 信乃<br>関西大学                     | 専門は文法です。院生時代から少しずつ日本語を教え始め、長年、大学で留学生を教えるしてきました。今の職場に移ってからは、教える人を育てる仕事に主になっています。「わかば」の気持ちは忘れていません。                                |
| 9  | なかじま まちこ<br>中島 祥子<br>鹿児島大学                    | 大学で学部留学生の日本語教育を担当。その後、大学の改組に伴い、多文化間共修や社会言語学、異文化コミュニケーションにかかわる授業を担当。現在はそれらに加えて初年次教育も担当しています。どれも日本語教育とは繋がっています。                    |
| 10 | なかやま あきこ<br>中山 亜紀子<br>広島大学                    | 韓国人や中国人の留学生を対象として、ライフストーリーを聞き、そこから、アイデンティティ、日本語を話す自己、日本語の学習動機などを研究してきました。質的研究、留学生教育、最近では英語支配の中の日本語教育に興味があります。                    |

# ぷらさ da わかば センパイリストつづき

|    | お名前・ご所属<br>(敬称略・50音順)                   | プロフィール   |
|----|---|--|
| 11 | なかやま えいじ<br>中山 英治<br>大阪産業大学             | 日本語学の分野では、事実性や仮定性といったリアリティという概念について博論をまとめました。日本語教育学ではタイの教師間協働の研究を続けています。日本語非母語話者とどうしたらよい協働ができるか、一緒に考えてみましょう。   |
| 12 | のぼりざと たみこ<br>登里 民子<br>国際交流基金<br>アジアセンター | 香港・マレーシア・インドネシアで日本語教育に携わってきました。主に司書、看護・介護の専門日本語教育、またここ数年は「日本語パートナーズ」派遣事業に携わり、よりよい異文化間協働のあり方を考えています。  |
| 13 | ほんだ ひろゆき<br>本田 弘之<br>北陸先端科学技術<br>大学院大学  | 高校の社会科教員から JOCV に参加して日本語教師になりました。日本語教育と社会の関係に興味をもち、日本語教育の現代史、日本社会における文字の使用（公共サイン）、さらに日本語教科書・教材の研究などを行っています。  |
| 14 | ますだ まみこ<br>増田 麻美子<br>文化庁国語課             | 420時間養成講座修了→検定合格→海外で2年→日本語学校で14年→大学院で学び直し→文化庁で8年目を迎えました。審議会担当事務局として日本語教育の資格や標準の策定に向けた検討をサポートしています。異文化体験の日々です。  |
| 15 | まつば ゆうこ<br>松葉 優子<br>静岡理工科大学<br>沼津日本語学院  | 日本語教師としてのスタートは海外。そして日本語学校、日本語教師養成機関、外国とつながる児童の日本語教育、大学、地域（浜松市）での日本語教育に関わり、現在は日本語学校に戻り留学生への日本語教育に携わっております。「教師研修」「教師の養成・育成」に興味を持っております。どうぞよろしくお願ひ致します。 |
| 16 | もうり たかみ<br>毛利 貴美<br>岡山大学 グロー<br>バル人材育成院 | 国内外での日本語教育を経て、現在はグローバル人材育成のための日本語カリキュラム作りを行っています。講義理解の研究、アクティブラーニングなどの教育実践を通して、理解の深化の過程、価値観の変容に興味を持つようになりました。  |
| 17 | やねはし のぶこ<br>家根橋 伸子<br>東亜大学              | 地域日本語教室でのボランティアが日本語教師のスタート。そこでの疑問を胸に大学院に。修了後、縁あって現在の大学で留学生教育に携わっています。日本社会で生きる留学生の「人生」を聞き、共に考えることに関心を持っています。  |

以上